

科目名	韓国語		英文表記	Korean		2017/3/27	
科目コード	5012						
教員名：許点淑 技術職員名：						作成	
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
全学科			5年	選	学修	2単位	講義
科目目標 【MCC目標】	<p>ハンゲルの読み書きと基礎的な韓国語の文章の構造が理解でき、あいさつや自己紹介、身近なものの尋ね方などの簡単な会話ができるようになる。</p> <p>【Ⅷ-A】韓国語の基礎的コミュニケーションスキルを学習する。</p> <p>【Ⅲ-C】韓国の社会事情などの異文化理解を深める。</p>						
総合評価	授業の参加度と課題の取り組み(20%)と小テスト(30%)、定期試験(50%)で、韓国語の理解度を総合的に評価する。						
科目達成目標とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック
	40%	① 助詞の使い分けと用言の活用をしっかり理解し、基礎的な文を組み立てる。	小テストと定期試験で理解度を確認する。	さまざまな助詞の正確な使い分けを理解し、文のかなめである用言を自在に活用する。	助詞の使い分けと用言の活用をしっかり理解し、基礎的な文を組み立てる。	最小限の助詞の習得と活用の仕組みを理解する。	
	30%	② 疑問代名詞、数詞と助数詞(単位名詞)など、語彙を定着させる。	小テストと定期試験で理解度を確認する。	実数と序数、虚数の数詞と助数詞の組み合わせを疑問詞と絡めて的確に使える。	疑問代名詞、数詞と助数詞(単位名詞)など、語彙を定着させる。	日常に必要な最小限の数詞と助数詞を組み合わせる能力を養う。	
30%	③ 韓国語の文字である「ハンゲル」の正確な発音と書き取りができるようにする。	小テストで理解度を確認する。	ハンゲルを瞬時に正確に発音でき、また、発音変化を正確に反映させて綴ることができる。	ハンゲルの正確な発音と書き取りが文単位でできる。	基本母音と子音の正確な発音と書き取りが語彙単位でできる。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
		◎		○			
<b>評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合</b>							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物)	総合評価	セルフチェック
評価項目		50	30	0	20	100	
基礎的理解	①②③	50	30	0	20	100	
応用力(実践・専門・融合)	①②③					0	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	①②③					0	
主体的・継続的学修意欲	①②③					0	
授業概要、方針、履修上の注意	日本語母語話者が外国語として韓国語を学習するという視点に立ち、両言語の共通点と相違点に注意しながら授業を進める。ハンゲルの成立事情から始まり、文字の仕組みの理解と発音の十分な練習を行う。その後、助詞の使い方、用言の活用と多様な活用語尾を学習し、基本文型を中心に韓国語の骨組みを学んでいく。韓国語と日本語とは同じく膠着語であり、多くの共通点を有しているため、母語である日本語を内省することは韓国語の理解に大いに役立つものである。						
教科書・教材	飯田秀敏他『韓国語の基礎 I』(朝日出版社)、2300円+税						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1		2			
2		2			
3		2			
4		2			
5		2			
6		2			
7		2			
8	前期中間試験(行事予定で週変更可)	2			
9		2			
10		2			
11		2			
12		2			
13		2			
14		2			
15		2			
期末	期末試験	[2]			
16	文字と発音①	2	ハングルとは?、母音字母、子音字母		
17	文字と発音②	2	子音字母、平音、濃音、激音		
18	文字と発音③	2	有声化、複合中声、終声		
19	文字と発音④	2	韓国語の音声、連音化、音声変化		
20	文字と発音⑤	2	複合終世、挨拶表現		
21	文法・表現編―第1課	2	用言、平叙形、助詞①		
22	文法・表現編―第2課	2	疑問形、疑問詞、助詞②		
23	文法・表現編―第3課	2	指定詞、存在詞、指示詞		
24	文法・表現編―第4課	2	用言の活用と語基、活用語尾		
25	文法・表現編―第5課	2	漢数詞		
26	文法・表現編―第6課	2	固有数詞、時刻と時間、助詞③		
27	文法・表現編―第7課	2	否定形、意思・推量語幹、位置名詞		
28	文法・表現編―第8課	2	敬語表現、不可能表現、願望表現		
29	文法・表現編―第9課	2	過去形、試行表現		
30	文法・表現編	2	まとめ		
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①	予習と復習を徹底し、授業には積極的に取り組んでほしい。			各2時間×15回	
②					
③					
備考欄					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)